

# 瑞祥院

令和 元年  
12月280号

## 【お彼岸 施餓鬼会】

年の瀬も近づいてきておりますね。すこし寺報の間があいてしまいました。

9月に行いましたお施餓鬼のご報告をさせていただきます。

9月21・22・23日の3日間、瑞祥院にて秋の彼岸法要が厳修されました。

最終日、御供養の護摩を焚いております時に、「うれしかった。またお願い。」とおっし

やったご先祖様がおられました。僧侶冥利に尽きます。

お供え



三日間の御膳です。

んがご出仕くださいました。

初日は、院主・副住・後住・庵主でご供養致しました。2日目・3日目にはお弟子さ



法要の様子



お供え(全体)



お施餓鬼最終日、御先祖様のご供養のために動いてくださった仏様より、燈明に感応の証をいただきました。

## 【大掃除・仏器磨き】

10月27日に大掃除、11月17日に仏器磨きがありました。

大掃除・仏器磨きともに、9時から神仏へご挨拶致しまして、それぞれお仕事にとりかかっていたいただきました。11時半頃に昼食をとり、それから14時過ぎまで掃除・仏器磨きをしていただきました。その後、神仏に終わりのご挨拶を申し上げ、解散となりました。ご出仕いただきました方には、ささやかではございますがお土産をお持ち帰りいただきました。

おかげさまで、お寺も仏器もピカピカになりました。本当にありがとうございました。



仏器磨きの一場面

## 【お正月】

昔から、元旦には「年神様（としがみさま）」という新年の神様が、一年の幸福をもたらすために各家庭にいらっしゃるとされています。年神様は祖霊神であり、田の神・山の神でもあるため、子孫繁栄や五穀豊穣に深く関わり、人々に健康や幸福を授けるとされていて「正月様」「歳徳神（としとくじん）」ともいいます。

その年神様を迎え入れてお祝いし、たくさんの方の幸せを授けてもらうために、様々な正月行事や風習が生まれたそうです。

瑞祥院におきましても、1日・2日・3日に新年祈祷の護摩を修法しまして、新年という大きな節目を無事に迎えられることの感謝と一年の除災招福の御祈祷を致します。

毎月一日に行っております定例護摩供養は、3日に新年祈祷と合わせて執り行います。



## 【生きる力】

神様仏様を信心することがどのような成果につながるのかをご存知ですか？

ピンチに強くなります。

もしも目の前で困ったことや悩み事、が起こったときにまず万全のことを行うことでしょう。

自分のできることを行い自分の精一杯を行うでしょう。

それでもまだ何か足りないとき、神様仏様はヒントをくださいます。

どんなに一所懸命にしても答えが出ないときその答えの出ない理由をお教えくださるのが神様仏様です。

答えの出ない理由とはそこに答えが出ないようにしていることなのかもしれません。万策尽きてしまっても神様仏様を信心していると別のところに想像していない答えが用意されていることがあります。

もしも生きることが大変だと思うことがあるならば信心の原点に立ってみましょう。神様仏様は信心する人に対していつも生きることが楽になるヒントをくださることを知りましょう。

神様仏様を信心していると生きる力が強くなります。

生きる力が強いとは生きることへの感謝ができることを言います。

生きることへの感謝をするとは生きることを楽しもうと言う余裕があるのです。

信仰とは自分の信じることを見上げるようにお願いいただくということです。

神様仏様を信心することは自分の生きる道を大事にすることでもあります。

信じることを今一度、強く行ってみましょう。

記 宝珠庵庵主

## 【行事予定】

### 《ヨガ講習》

毎週金曜日 10時より11時

インストラクターの方に来ていただいております。

### 《新年祈禱》

1月1日・2日・3日 13時より14時半まで

新年祈禱は、新年という大きな節目を無事に迎えられることの感謝と除災招福の御祈禱です

### 《新年初護摩供養（定例護摩供養）》

1月3日 13時より14時半まで

### 《滝行（寒行）》

1月21日

冬の滝行は寒いものですが、寒行にもなりますと気温より水温の方が高く、滝行中は水が温かく感じるものであります。寒行は寒い分、行がより深まるといわれています。ご一緒に滝行をしませんか。ご希望の方はご連絡ください。